

令和4年度 たつの市立西栗栖小学校 学校経営方針

1 校訓

たかく(知) あかるく(徳) たくましく(体)

2 学校教育目標

ふるさと「くりす」を愛し、未来への道を切り拓く、こころ豊かな児童の育成

3 学校経営の基本方針

(1) 教育方針

- ① 「生きる力」を育む教育の推進
- ② 子どもたちの学びを支える環境の充実

(2) めざす児童像

- ・何事にも目標をもって意欲的に取り組み、よく考え常に高い理想に向かって努め励む児童
- ・身のまわりの整理整頓ができ、思いやりの心で誰とでも仲よく交わり、常に明るくまじめに行動できる児童
- ・心も体も鍛え磨き合い、みだりに他人に左右されず、常にしっかりした考えと行動を身につける児童

アイウエオの約束

ア 朝ご飯	ご飯をしっかり食べて、元気に登校する
イ いい姿勢	腰骨を立てて、授業に集中する
ウ 運動	外でみんなと元気に遊び、体力の向上を図る
エ 笑顔	いつも笑顔で過ごして、自分がされて嫌なことは人にしない
オ お掃除	丁寧に掃除をして、学校や教室を大事にしたいという思いをもつ

(3) めざす学校像

- ・子どもたちにとって 「学びたい」学校
- ・教職員にとって 「働きがいのある」学校
- ・保護者、地域にとって 「信頼できる」学校

(4) めざす教師像

- ・教職に対する強い使命感と情熱をもった教師
- ・教育の専門家としての力量を磨き続ける教師
- ・人間的魅力があり、子どもの心に灯をともし教師

4 具体的実践事項

(1) 健康安全教育

- ①本的な保健衛生の習慣化（歯磨き・手洗い・健康観察）、感染症予防のための能力・態度や自らの安全を守るための能力を育成する。
- ②食に対する正しい知識と望ましい食習慣等を身につけさせる。
 - ア) 食育の推進
 - イ) 食物アレルギー対応研修
 - ウ) アレルギー発症時のシミュレーション訓練
- ③個々の実態に応じた保健教育を実施し、生涯にわたる健康の基礎を培う。
- ④震災の教訓を生かし、家庭・地域と連携した安全教育・防災教育を充実する。
- ⑤「安全の日」設定、遊具の点検や防災訓練により、学校安全を徹底する。

(2) 特別支援教育

- ①特別支援教育コーディネーターを中心に校内支援体制を整える。（研修の計画・実施）
- ②個別の教育支援計画・指導計画の作成・活用の促進
- ③「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（平成28年4月施行）を踏まえ、本人・保護者と合意形成を図った合理的配慮の実施
- ④児童・保護者・地域に対する理解啓発の推進

(3) 人権教育

- ①人権に関する知的理解と人権感覚の涵養を基盤に、自他の人権を守り、人権課題を解決しようとする実践的な行動力を育成する。
- ②同和問題、女性、障害のある人者、高齢者、いじめ、インターネットによる人権侵害等、新型コロナウイルス感染症に関する人権侵害など、あらゆる人権課題の解決に向け、指導内容の充実と指導方法の工夫に努める。

(4) 道徳教育

- ①学校教育活動の全体を通じて、道徳的価値の自覚を深め、道徳的実践力を育成する。
- ②他者や自己との「対話」による「深い学びをめざす」授業研究を進める。
- ③人々とのふれあいを通じて地域を大切に思う心を育てる。

(5) 学習指導

- ①つまずきの解消や系統性を重視した指導を充実する。
- ②主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進める。
- ③カリキュラム・マネジメントの実現を進める。

教科等横断的な視点で教育内容を組織的に配列、探求型の総合的な学習の時間の推進

- ④基礎基本の定着を図り、「ことばの力」を中心とした表現力の育成に努める。
 - ア) 下校時のスピーチ、くりすの子発刊、朗読会、読書習慣
 - イ) 学習タイムの充実

- ⑤家庭での学習習慣の定着を図る。
- ⑥ICT 活用授業の推進、情報社会に主体的に対応できる情報活用能力の育成をめざす。
 - ア) ICT を効果的に活用した授業の推進
 - イ) 家庭・関係機関と連携した情報モラル教育の促進

(6) 生活指導

- ①温かい言語環境を大切にした言葉づかいの徹底を図る。
 - 「はい」「おはよう」「ありがとう」「さようなら」
- ②危機管理のための情報交換と指導体制を確立する。
 - (最悪を想定、慎重に、素早く、誠意を持って、組織で対応)
- ③いじめ・不登校児童ゼロをめざし、迅速で組織的な対応を行う。(毎月の生活アンケート)
- ④継続的な教育相談を行う。(個人面談・児童の行動記録)
- ⑤心と学び舎を磨く清掃指導を徹底する。
- ⑥心のケア・カウンセリング等を行うとともに、自尊感情などの心の教育の充実を図る。
- ⑦児童の話し合い活動、体験活動を通して、自主自立の精神を育む。
 - 学級活動・児童会活動・委員会活動・クラブ活動・異年齢集団の充実
- ⑧家庭・地域と連携した生徒指導を推進する。

(7) 社会の変化に対応した今日的課題

- ①社会的自立に向けたキャリア形成の支援の充実を図る。
 - ア) キャリア教育全体計画の作成
 - イ) キャリア教育年間指導計画の作成
 - ウ) キャリアノートの活用
- ②身近な環境に関心をもち理解を深め、命を尊ぶ心を育む環境教育を推進する。
- ③地域と連携した体験活動の推進により、自立心、協調性、思いやりの心を育む。
- ④外国語教育を充実することにより、コミュニケーション能力の育成や異文化理解を図り、グローバル化に対応した教育を推進する。

(8) 教職員の資質能力の向上

- ①教職員としての心構えを確立する。(崇高な使命の自覚、法令順守、高い倫理観等)
- ②子どもと向き合う姿勢を確立する。(子どもへの愛情と責任感、深い児童理解)
- ③さまざまな研修機会を活用する。(専門性と実践的指導力の向上)
- ④情報の共有と多角的・多面的な理解に基づく組織的対応を進める。

(9) 働き方改革の推進

- ①業務改善に取り組み、勤務時間の適正化(定時退勤日、ノー会議デーの完全実施、記録簿の記入・タイムマネジメントの確立)を進め、教職員のワークライフバランスを図る。
- ②風通しのよい学校づくりを進め、教職員相互の協力・協働の職場環境づくりに努める
- ③労働衛生委員会を定期的に開催し、メンタルヘルスの保持・増進に配慮した体制を構築する。